

東証・金融庁が6月11日に公表

改訂版CGコード等の 概要と実務ポイント

3つの柱で新たな成長を後押しする

当局解説

CGコード・対話ガイドラインの 改訂ポイント

東証の市場区分再編も踏まえた

実務解説

1

改訂版CGコードへの 対応スケジュール

多岐にわたる改訂内容にどう取り組むか

実務解説

2

改訂版CGコード等への 実務対応上のポイント

持続的成長と中長期的な企業価値の向上の実現に向けガバナンスを目指す取組みを後押しするため、6月11日に東証から「コーポレートガバナンス・コード」の改訂版、金融庁から「投資家と企業の対話ガイドライン」の改訂版が公表された。取締役会の機能発揮、企業の中核人材の多様性の確保、サステナビリティをめぐる課題への取組みなどが盛り込まれており、年内までにこの改訂版コードに沿ったコーポレート・ガバナンス報告書の提出が求められる。本特集では、今回の改訂の概要、ならびに実務対応のポイントについて、解説してもらった。